

# 自己紹介



株式会社 granpocke / sansui 保育園

取締役 山本園子

大学卒業後、金融関連企業を経て、出産を機に保育・幼児教育を志す。  
2017年に株式会社 granpocke を立ち上げ、兵庫県にて企業主導型保育園 (sansui 保育園)、  
児童発達支援施設・放課後等デイサービスを運営。  
「可能性と、出会う。」をビジョンとし、「園内ブランディング®」で運営の課題に向き合ってきた。  
チームとしての組織づくり、伝える力で職員の意識改革を行い、園全体の統括を担う。

## ● 河合清美



NPO法人  
こども発達実践協議会代表  
(日本保育士研修センター)

X (旧Twitter) 園長きよみぷちコラム  
フォロワー 14,000人以上

現役 東京都認可保育園園長  
星美学園短期大学 特別講師

### 【 経歴 】

川崎市公立保育園新卒	6年
横浜認可外保育園	4年
社会福祉法人保育園主任	8年
株式会社保育園	
保育士→園長	7年
株式会社保育園園長(現在)	6年
(エデュリー)	

今年6月  
改めてマネジメントを学び  
園長検定1級に合格しました

コドモン 使っています！

2D



2D



子どもの興味関心から、  
探究活動を充実していく保育を実践しています！

事例：恐竜コーナーの発展

2Dから3D、そして“恐竜博物館”へ

3D



2Dの恐竜博物館

掲載

「2050年の保育  
子どもの主体性を育てる実践的アプローチ」

菊地翔豊 著 (SYNCHRONOUS BOOKS)

# 新卒からずっと現場にいて、子どもから学んできたことを言葉で表現する活動をしています。（研修講師・書籍執筆等）

保育者の意識改革と園としての取り組み

言葉かけから見直す  
「不適切な保育」  
脱却のススメ

菊地奈津美・河合清美 著

言葉を意識する。まずはそこから変えていく。「自分は大丈夫」と思っている保育士にこそ読んでほしい。

「不適切な保育」を生まないための、日々の保育の振り返りに使える資料つき

保育士野郎 (認可保育園園長、保育士インスタグラマー)

中央法規

2023年8月

10のスキルで防ぐ!  
「不適切保育」脱却  
ハンドブック

菊地奈津美・河合清美 著

園で役立つ知識とあの手・この手

「マインドチェンジでスキルアップ、本書を日々の保育の手鏡に」

秋田晋代美先生 (学習院大学教授、東京大学名誉教授) 推薦!

好評書『言葉かけから見直す「不適切な保育」脱却のススメ』とセットでおすすめ!

中央法規

2024年8月

子どもの登園しぶりに困ったら  
しあわせお母さんプロジェクト

保育士、看護師からのメッセージ

子育ての「正しさ」よりも「楽しさ」に出会う。

子育てのいろいろな「正しさ」に迷い、子どもと心を通わせ、悩んでいたことが、わが子への愛しさに変わりますように

『子どもの登園しぶりに困ったら』しあわせお母さんプロジェクト 著

中央法規

2024年7月

出版予定

職員みんなで育てよう『新人保育士がぐんぐん育つ場面別「関わり方のさじ加減」』

# ● コドモンカレッジ

いつもありがとうございます！

- 「丁寧に保育する」ってどういうこと①  
～乳児の健やかな育ちを支える～
  - 「丁寧に保育する」ってどういうこと②  
～かみつき・ひっかき・たたくは 子ども理解を深める大チャンス～
  - 保育士の「基本のキ」 ひとり5分で書こう  
～伝わる・つながる 連絡帳の書き方～
  - 発達の視点からの手遊び  
～運動機能の発達に繋がる 体験を重ねていくために～
- <Coming Soon>
- 「保育士の基本のキ」  
～マナーの「あいうえお」で学ぶ保育士としての社会人基礎力～



社会福祉法人 誠美福祉会  
幼保連携型認定こども園せいび



## 園長 折井 誠司

大学の理系学部で学び、卒業後大手企業の技術職を経て入職。  
時に講師、執筆などを請け負いながら理事長及び園長職に従事する。  
保育士、幼稚園教諭、東京都社会福祉協議会保育部会 副部会長。



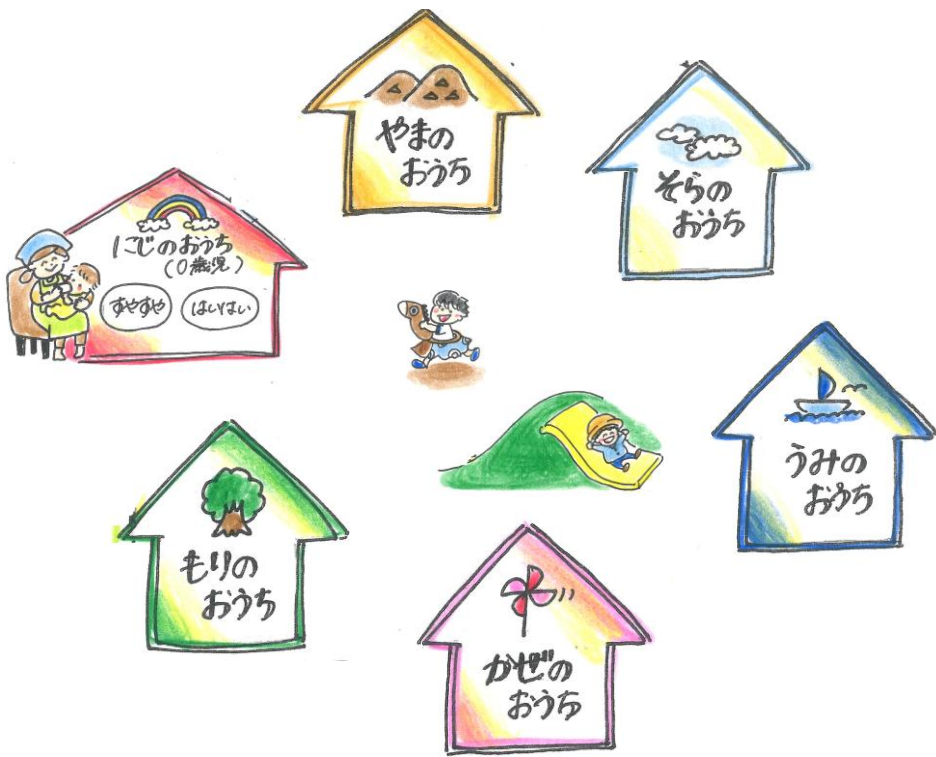
きもちつながる、思いひろげる。

# 施設紹介

- 東京都多摩市
- 定員211名（利用定員170名）
- 1973年4月開園
- 多摩ニュータウンの造成期に  
共に作られた大規模な保育園

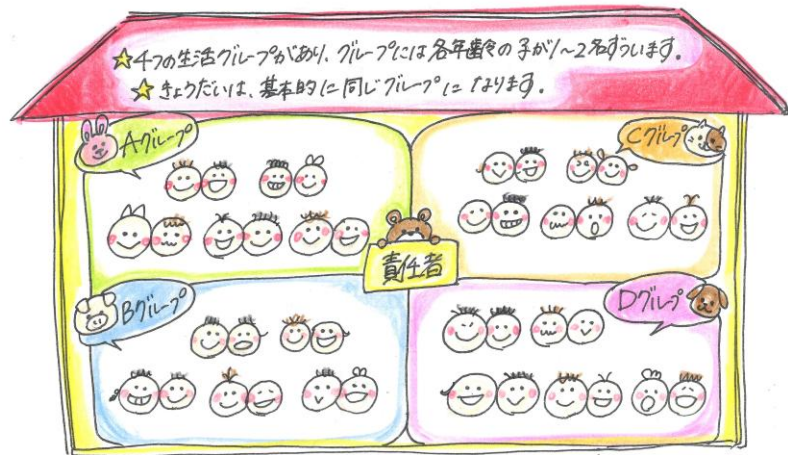


# 施設紹介



☆異年齢のおうち☆  
(1~5歳児)

- 1歳児 ちんちん
- 2歳児 すくすく
- 3歳児 なせなせ
- 4歳児 ぐんぐん
- 5歳児 とんとん



# 自己紹介

針尾 政幹（はりお まさのぶ）

2歳10か月と1歳2か月の男の子二人の父

2005年	滋賀県大津市	公立保育園勤務
2007年	社会福祉法人	多摩福祉会
	こぐま保育園	勤務
2018年	こぐま保育園	副園長
2024年	こぐま保育園	園長

園長としては、まだまだ駆け出しの  
新米園長です



# 笑って泣ける園長物語

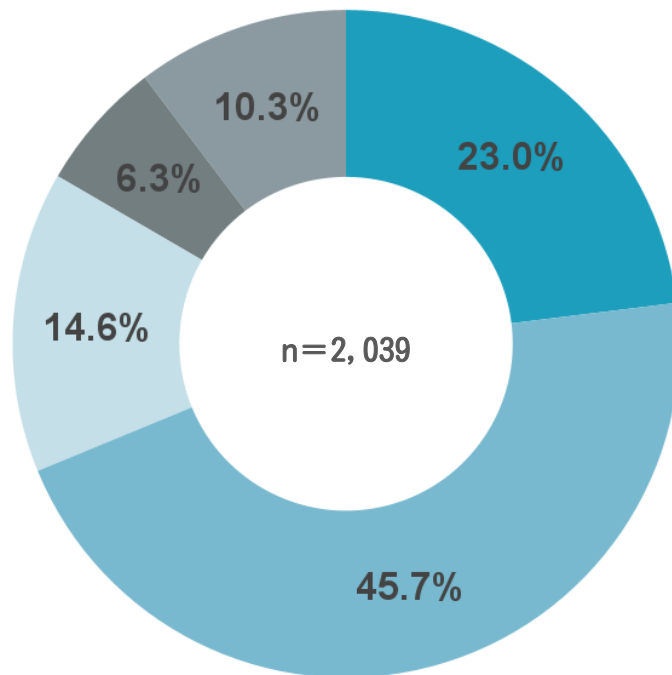
～トホホと再起のリアルエピソード集～

2025年10月23日開催



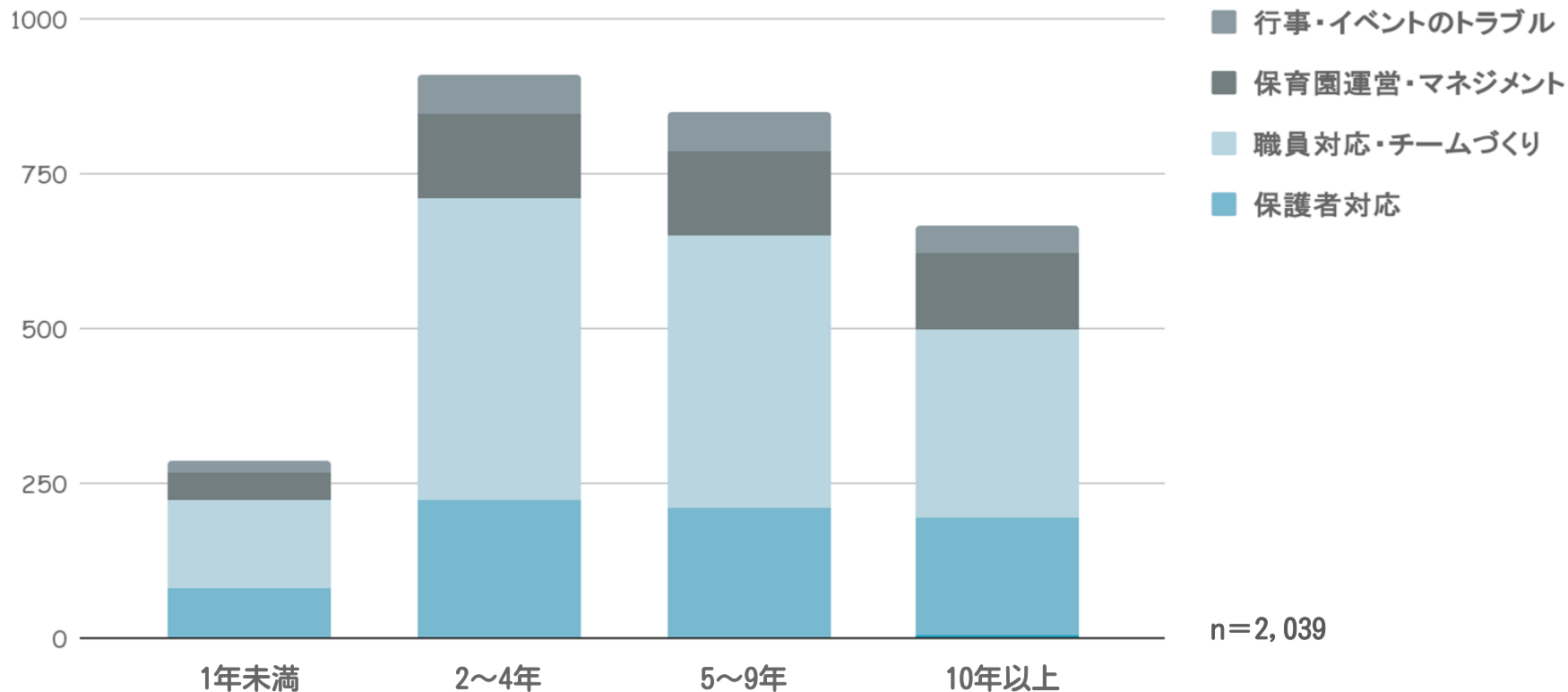
園長先生カンファレンス<sup>2025</sup>

園長先生として、最近「思わずちょっとトホホ…」と感じた出来事は？



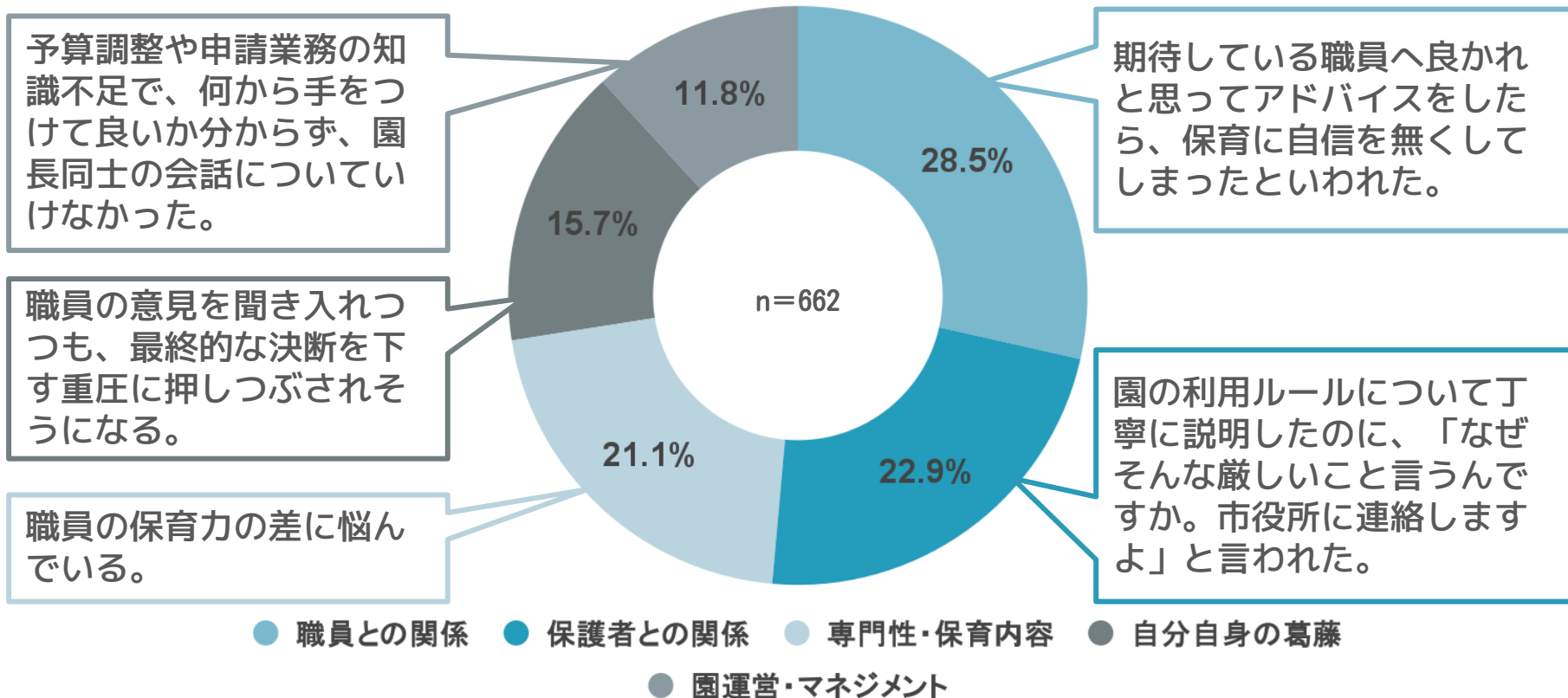
- 保護者対応
- 職員対応・チームづくり
- 保育園運営・マネジメント
- 行事・イベントのトラブル
- トホホを感じる出来事はない

## 経験別割合



n=2,039

## 自由記述欄の「トホホ」エピソード



## 職員との関係

### 具体的なエピソード

- 一部の職員が個人的に業務等の不満を保育室で話すなど、チームワークを乱していると感じた。
- 若手職員に『休みをとっていいよ！連休で取ったら？』と勧めたところ、『長く休むと仕事に来たくなくなるので…』と言われた。
- 期待している職員へ良かれと思ってアドバイスをしたら、保育に自信を無くしてしまったといわれた。
- 職員間の意見の食い違いにより、一方が退職や異動をしてしまい、無力さを感じた。
- 報連相が何度伝えてもなかなかできない職員がいて、教育に悩んでいる。

### 学び・気づき

- 会議の持ち方をいろいろ工夫し、なるべく意見や思いを出しやすいような工夫はしている。
- 自分の価値観と若手職員の価値観に違いがあることに気づいた。
- 平成のやり方では上手くいかない。常に新しい情報を取りに行くことが必要だと感じた。

**傾向：指導方法の難しさ、価値観の違いやコミュニケーションによるトラブルでのエピソードが多い。**

## 保護者との関係

### 具体的なエピソード（一部抜粋）

- 非認知能力の大切さについて話をしたところ、保護者から「そんな話より保育参観の時間を長くしてほしい」と言われ、園が伝えたいことと保護者が求めていることのズレを感じた。
- 保護者のクレーム対応で、現場の声とずれが生じた。「園長先生、それは違います！」と声をそろえて言われた時の心境が「トホホ」だった。
- 園の利用ルールについて丁寧に説明したのに、「なぜそんな厳しいこと言うんですか。市役所に連絡しますよ」と言われた。

### 学び・気づき

- 事前に資料を配信するなど、伝え方を工夫する必要があると気づき、保護者が求めていることを把握する大切さを再認識した。
- 現場の声は大事なので、自分の意見が違って押し通さないことの大切さを学んだ。
- 感情的にならず、「制度を守るために必要な説明」という柔らかなスタンスで伝えればよかった。また、普段からわかりやすい、納得できる事前周知も必要だと感じた。

**傾向：価値観のずれ違い、ルールを守らない保護者やクレーム対応に苦慮しているケースが多い。**

## 専門性・保育内容

### 具体的なエピソード（一部抜粋）

- 2年目の若手保育士がピアノを全く弾けず、子どもの前で一切弾けない状態。主任の対応ではどうにもならず、園長が何度も指導している。
- 職員の保育力の差に悩んでいる。先輩の保育を盗むことが学びだった時代と異なり、不確かなSNS情報を現場で使う職員がいる。
- 保育内容を改善したいが、保守的で変化をためらう職員からの意見が多いため、質の向上に苦勞している。
- 研修で学んだ内容を現場に落とし込むのが難しい。

### 学び・気づき

- 自尊心をくじいてはいけないと思う。正論を正面から提示するのではなく、本人の力で気づき改善しようと思えるような配慮と工夫が必要だと感じた。
- 時代の流れとしてSNS活用も仕方ないが、節度は必要。しっかりと基準を設けることが大事であり、園内研修のテーマにしたいと考えている。
- 研修内容を現場で実践できるよう、具体的な方法論や事例を共有する場を設けるべきだと学んだ。

**傾向：理念や新しい保育方針を職員に伝える難しさ、保育力の差に悩む声が多い。**

## 自分自身の葛藤

### 具体的なエピソード（一部抜粋）

- 職員から「園長の機嫌に左右される」と言われ、そんなつもりがなかったためどうすればいいか分からなくなった。
- 園長1年目「園長だからしっかりしなきゃ」と気を張り、早朝から深夜まで園にいて疲れてしまった。
- 保育園を思っている事、が伝わらないのが当たり前。それでも笑顔で包み込める人でありたいけれど自分の心を保つのは難しい。
- 職員の意見を聞き入れつつも、最終的な決断を下す重圧に押しつぶされそうになる。

### 学び・気づき

- 園長の表情一つで相手の受け取り方が違うことを痛感し、より自分の感情や振る舞いに敏感になる必要性を感じている。
- 少くくらい頼りない園長でも、みんなが助けてくれる。その方が職員さんの思いや意見を聞きやすくなり、仕事もプライベートも楽しめるようになった。
- とにかく冷静に！自分に厳しく人に優しく居られる余裕を。
- 自分の判断に自信を持つためにも、情報収集と自己研鑽を怠らないことが大切だと学んだ。

**傾向：園長としての孤独感やプレッシャー、理想と現実のギャップに悩む声が多い。**

## 園運営・マネジメント

### 具体的なエピソード（一部抜粋）

- 予算調整や申請業務について、知識不足から何から手をつけて良いか分からず、他の園長先生の話についていけなかった。
- 施設の破損を長年放置していたことで、いざ直そうとした時に多額の予算が必要になってしまった。
- 行事の準備を職員に任せるところ、一部の職員が一人で抱え込んでしまい、当日に不備が発覚した。
- 災害時の避難訓練が形骸化しており、いざという時に機能しないのではないかと不安を感じる。

### 学び・気づき

- 数字の管理や補助金の話など、園長として知っておくべき知識を増やすしかないと痛感した。
- 計画的に修繕予算を立てることが重要だと分かった。
- 職員の『できてます』を鵜呑みにせず、最終確認を自分でも行うこと。そして、仕事を分担させ、責任と権限を明確にすることが大切だと学んだ。
- 訓練の形骸化を防ぐため、実践的な訓練内容に見直す必要がある。

**傾向：「誰かに任せておけば大丈夫」という思い込みや、園長自身のスキルアップの必要性を痛感するエピソードが多い。**